



専用設計のサイレンサーとスパイラルテールで構成されるP.B.S

●テールエンドから姿を見せる、独特なスパイラルフィンがP.B.Sマフラーのパワー&トルクの源。サイレンサーの内部構造とスパイラルフィンの組み合わせによって、低・中速域のトルクアップと燃費向上を図るという仕組み



交換後



●マフラー内部と、高速で流れる排気ガスとの摩擦により発生する静電気を逃がすアーシングワイヤーも付属



●プリウスの場合、サイレンサー1枚を交換。作業時、バンパーとテールのクリアランスを保つパーツも付属する

走り出すと違いは歴然!!

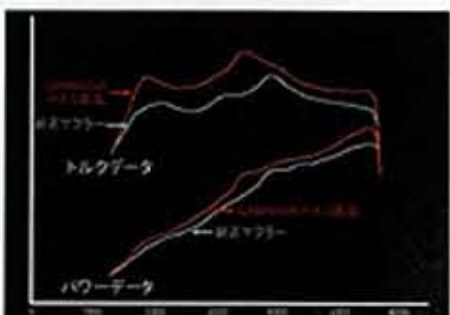


純正

ガナドール事業部  
営業部 広嶋謙  
建林正晃さん



### トルク&パワーアップはデータを見ればわかる



グラフでも示されているように、純正マフラーに対しP.B.Sマフラーはトルク/パワーともにほぼ全域で底上げされていることがわかる。オーナーに感想をたずねると「エコモードでも、スムーズに加速できるようになった」とのこと。

燃費向上と、さらなるパワー/トルクアップを目指して開発されたプリウス専用のエキゾーストシステムが、ガナドールのP.A.S.I.O.N P.B.Sマフラー。

マフラーだけで、どれほどパワー/トルクアップするのか、読者ならばとても気になるはず。かつてのターボ車は、エンジンを制御するコンピューターの性能が低く、パイプ径を太くするだけで簡単にブースト圧が上がったが、プリウスは最先端のハイブリッドシステムを搭載し、徹底的にエンジン効率が追求されているなかで、パワー/トルクを上げる余地が残されているのだろうか。

この課題を解決すべく、ノウハウ豊富なガナドールが採用したのがP.B.S (パワーブーストシステム)。サイレンサー(消音器)を専用設計とし、パワー、トルク、音量の特性をコントロールするというもの。

サイレンサーを構成する各部品の組み合わせ条件や徹底した精度管理を行い、さらに、膨大なテストを繰り返しながらデータを確認し、設定車種に最適な仕様にチューニング。

P.B.Sの装着を外観から唯一確認できるのが、テールパイプ内部のスパイラルフィン。これは、排気を回転させ、そこで生じた慣性変化を利用してパワーとトルクが向上するという機構。詳しく説明すると、テールパイプに到達した排気が、側壁にらせん状に配されたスパイラルフィンによって回転運動が起こり、渦流となる。渦流によって外側と内側に圧力差が生じ、双方が引き合っ

て排気運動が加速され、排気効率を大幅に高める。また、スパイラルフィンは大気中への排気放出時に発生する、有害な波動脈を防いでくれる。

専用設計のサイレンサーとスパイラルテールで構成されるP.B.Sは、エネルギー変換効率の向上と、パワー/トルクをコントロールし、マフラーのトータル性能を飛躍的に向上させる。具体的には低回転域から粘りのあるトルクと、高回転域までストレスなく続くパワーフィールが体感できる。むやみにアクセルを踏み込まなくても十分な加速力が得られ、とても扱いやすい。結果的にアクセルの踏み込み量が少なくなり、燃費向上へとつながるのだ。

メーカーが公表するデータによると、純正マフラー比較で約11.1馬力アップ、最大トルクも1.8kgmアップを達成。しかも注目すべきは、純正マフラーより360回転低い値で最大トルクを発生させていること。見た目のバランスを考慮したバンパーとのクリアランスや、ジェントルなオーバル・ダブル出しテールといったファッション性だけでなく、パワー/トルクを向上させる機能パーツとしての性能も備えるPAE-025は音質にもこだわった。不快なこもり音を排除し、回転数上昇に比例して4気筒エンジン特有のビートが高まるように調律されている。

PAE-025は耐腐食性に優れたオールステンレス製。だが、より軽さを求めるオーナー向けに、オールチタン製のPAE-025Tもラインアップ。P.B.Sの搭載など基本性能は変わらず、素材をオールチタニウムとすることで、重量は純正マフラーの5kgに対し4.2kgと、さらなる軽量化を実現。チタンブルーに輝くオーバルテールが、リヤセクションで圧倒的な存在感を放つ。

# GANADOR P.A.S.I.O.N P.B.S MUFLER

■ガナドール P.A.S.I.O.N P.B.S マフラー  
マツ・ショー ☎048-935-1130 <http://www.ganador.co.jp/>

PRIUS  
SPECIAL  
BRANDS &  
PARTS  
SELECTION

02

独自の機構「P.B.S」でさらなるパワー&トルクアップを実現するガナドールのマフラーは、環境性能とサウンドがひと味違う

## PAE-025T

価格：19万7400円

## PAE-025

価格：7万1400円

純正と比べてみたらひと目でわかる

●サイレンサーやテールエンドの形状、ステンレスの輝きなど、純正との違いは歴然。だが、純正の軽さは侮れない

厳格なJASMA基準をクリア

●近接騒音値はP.B.Sマフラーが79dBなのに対し、純正は73dB。保安基準より厳格なJASMA基準をクリアする

存在感を放つダブル出しテール

●オーバル・ダブル出しのテールエンド形状はリヤビューに存在感を与える。テール先端にGANADORロゴを配す

応力分散を考慮したステーを採用

●装着後のガタツキなどを防ぐために、マフラーを車体に固定する棒ステーには応力分散を考えたプレートを使用

空力を考慮したサイレンサー形状

●フロア下の空気抵抗を減らすために、P.B.Sマフラーでは角のない、丸みを帯びたフォルムのサイレンサーを採用